

神保原駅北 まちづくり基本計画（案）

令和5年2月

1-1. 計画策定の背景と目的

1

かつての神保原駅北



製糸工場と周辺の様子(1928年)



製糸工場 従業員の方々



1911年に開設された郵便局



1970年代頃の駅前通りの風景

今の神保原駅北



現在の駅前通りの風景



区域内の宅地に隣接する空地

出典: 上里町資料

1-1. 計画策定の背景と目的

賑わいとゆとりを感じ 歩いて楽しむ「まちなか」
～ひと・まち・駅をつなぐまちづくり～



「楽しみ、活力がみなぎる」場所づくりを行います。



「便利で、住み続けたい」場所づくりを行います。



「安全・安心」な場所づくりを行います。

実現に向けて…

いつ？

誰が？

何を？

どの
ように？

構想の深度化、整理が必要

1-1. 計画策定の背景と目的

まちづくり基本構想

深度化していく

行政だけでなく、地域住民等の関係者の関心を高め、
具体的な行動を起こしていくことが必要

「まちづくり基本計画」を策定

ソフト

今あるものをいかす・使う



ハード

使い方に合った
空間整備

まちづくりの実現へ

1-2. 計画の位置づけ

上位計画

上里町
総合振興計画

上里町
国土強靱化地域計画

上里町まち・ひと・しごと
創生総合戦略

上里町
都市計画マスタープラン

上里町
立地適正化計画

神保原駅北まちづくり基本構想

◆駅北の将来像

賑わいとゆとりを感じ 歩いて楽しむ「まちなか」
～ひと・まち・駅をつなぐまちづくり～

町民

議会

上里町

まちづくり協議会

町民ワークショップ

神保原駅北まちづくり基本計画

2-1. 駅北の現況

① 人口減少・高齢化の進行。



② 緩やかに宅地化が進む中で、河川や田畑が残る。



③ 人口減少に伴い、空き家が増加。



④ これまで立地していた商店が減少。



⑤ 狭い道路やクランク形状などの道路が存在。



⑥ まちの安全性や利便性・賑わいについて問題視。



ワークショップでの検討結果を踏まえ追加

【良い所】

① 駅を中心に、生活利便施設が立地。



② かつて製糸工場があったことなど、誇れる歴史がある。



【気になる所】

① 人が楽しめ、集まることができる場所が少ない。



② 狭くて危険な道路が多く、バリアフリー化がなされていない中、交通量が集中。



③ 上里町の「良さ」や「魅力」をいかすことができていない。



④ 水害リスクがある。



2-2. 駅北の課題

課題1 まちの玄関口としての賑わいづくりが必要。

解決に向けて…

方向性👉賑わい向上に向けた機能の誘導や、楽しみ、憩える公園などの公共空間整備が考えられます。

課題2 安全性・利便性・快適性を兼ね備えた駅まち空間の一体的な整備が必要。

解決に向けて…

方向性👉駅前広場、駅舎等の交通結節点機能や周辺環境の改善が考えられます。

課題3 まちの良い所を活かし、歴史を記憶にとどめることができるようなしかけが必要。

解決に向けて…

方向性👉情報発信などの仕掛けや、地域を巻き込んだイベント等の開催などが考えられます。

2-2. 駅北の課題

課題4 水と緑に触れ合え、歩いて楽しい、誰もが住みたくなるような街づくりが必要。

解決に向けて…

方向性👉賑わいづくりと合わせ、今ある「良い所」を整えることが考えられます。

課題5 空き家・空き地、低未利用土地の利活用による居住者の増加とコミュニティの維持。

解決に向けて…

方向性👉低未利用土地等の活用制度の創設や、コミュニティ活動の推進が考えられます。

3-1. まちづくり基本構想

賑わいとゆとりを感じ 歩いて楽しむ「まちなか」
～ひと・まち・駅をつなぐまちづくり～



「楽しみ、活力がみなぎる」場所づくりを行います。

「訪れたい」と思えるような魅力的なまちづくり



新たな人を呼び込み、賑わいある場所づくりの推進



「便利で、住み続けたい」場所づくりを行います。

沿道空間・駅周辺の改善

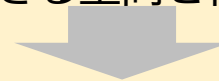


安全な環境で、生活利便施設の立地を推進することで、便利に生活し、「住み続けたい」と思える場所づくりの推進



「安全・安心」な場所づくりを行います。

沿道空間・駅周辺の安全性を確保し、安心して過ごすことができる空間を作る



駅周辺に住んでいる人のためだけでなく、「みんなが集まる場所」とする上でも重要なため、第一に推進

3-2. まちづくりのコンセプト

まちづくりとは…？

地域の人々等、上里町に関わる人たちの
意思を形にして提供することが大切

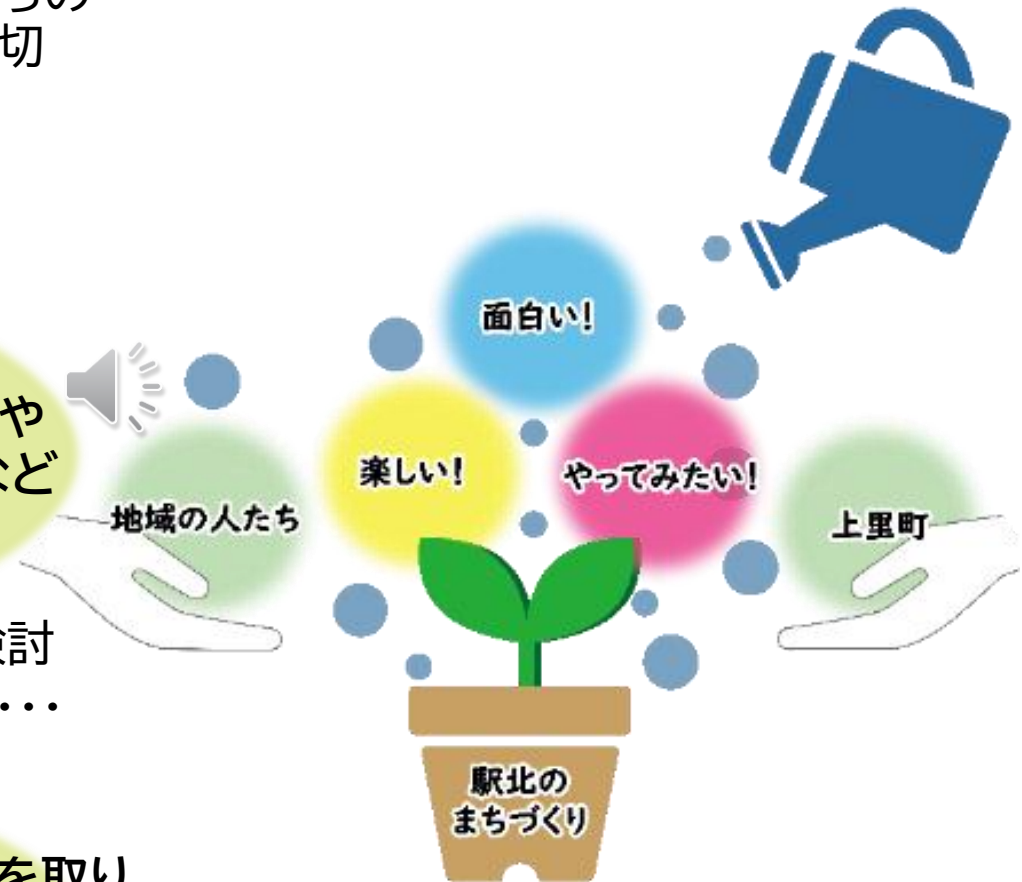
そのためには…

- ・ 組織づくり(ソフトの取組み)
- ・ 人々が守ってきた歴史的建造物や
その跡地、低未利用土地、河川など
の地域資源を生かした空間整備
(ハードの取組)

の検討

地域の様々な課題に対応するため…

行政だけでなく、地域の人たちと手を取り
合って、一緒に作り上げていく。



3-2. まちづくりのコンセプト

町民ワークショップで検討した、「まちづくりのコンセプト」を示します。

毎日行きたい、公園のように楽しめるまち
「誰もがくつろげ、思わず歩きたくなるまちづくり」

- ① マーケット(市場)やお祭りなどのイベントの開催によるソフトの取組を各所で実施し、賑わいを創出する。
- ② 駅前や大型商業施設跡地等に、昔の面影を大事にしながら、新たな目的地となる場所をつくり、賑わいを創出する。そのためにも、安全・安心な場所づくりを進める。
- ③ 既存のまちの良い所(まちなかの緑・水資源や旧中山道、製糸工場などの誇れる歴史)をいかしたまちづくりを進める。
- ④ 賑わい創出に向けて、歩いて楽しめ、回遊できるまちづくりを進める。
- ⑤ 駅周辺に住んでいる人だけでなく、全ての町民に満足してもらう。

3-2. まちづくりのコンセプト



賑わいを創出する

【ターゲット】

・若者や子育て世代

賑わいを創出する観点から、若者を中心に、様々な活動を支えることができる場を提供し、子育て世代など、ファミリー層の流入も見据えた、まちづくりを進めていきます。



町民の満足度を高める

【ターゲット】

・町内や駅北に住んでいる人、
町外の人

町内の人や、現在駅北に住んでいる人の満足度を高め、最終的に町外からの来訪者や定住者も増えるよう、まちづくりを進めていきます。



優しいまちに

【ターゲット】

・全ての世代(子供から大人まで)
・高齢者や交通弱者、障がい者

子供から大人まで、誰もが楽しめ、高齢者や交通弱者、障がい者等の方々に優しいまちにしていきます。

3-2. まちづくりのコンセプト

12

POINT1

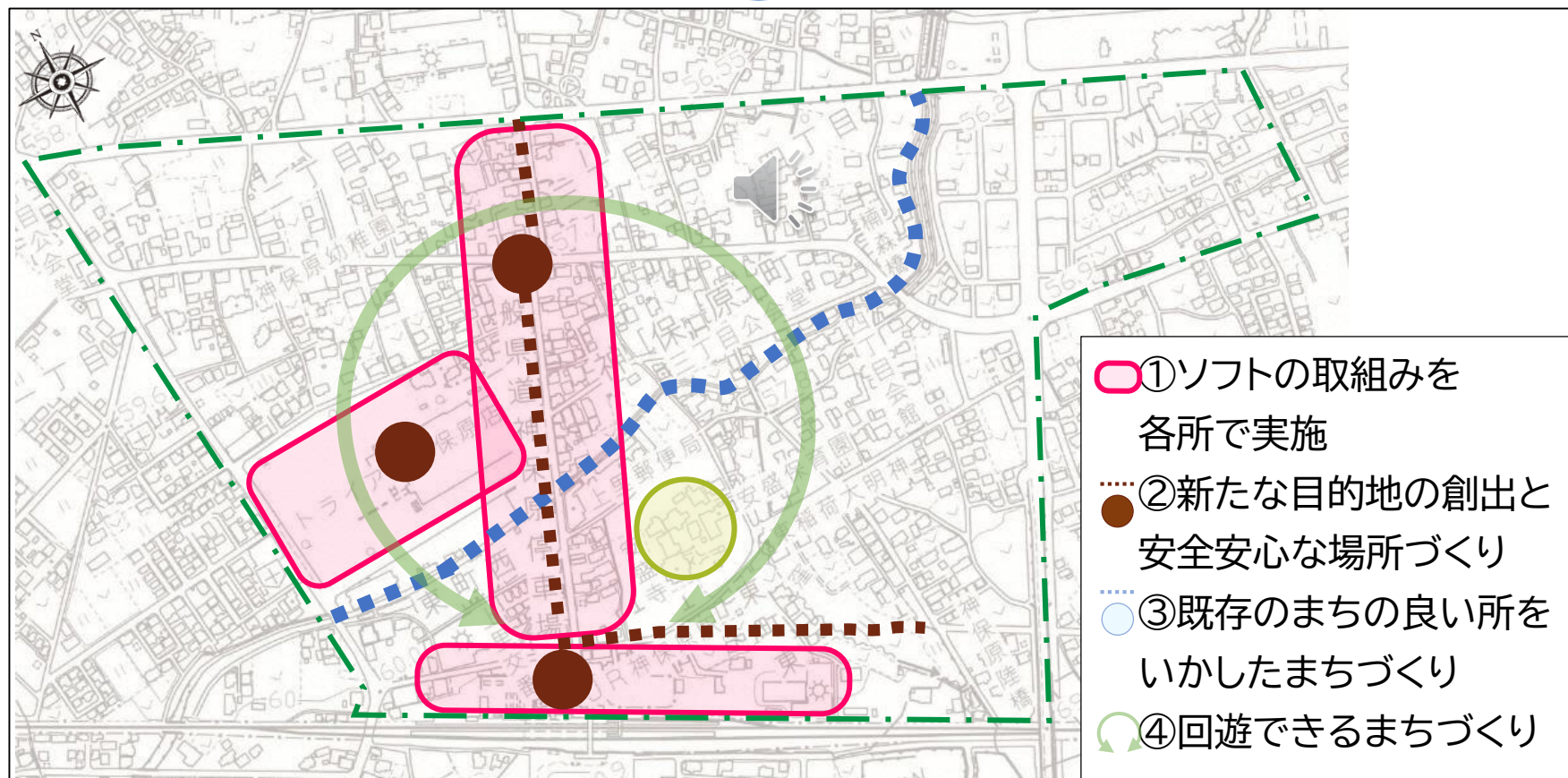
昔の面影を残しつつ、
新たな目的地となる
場所をつくる

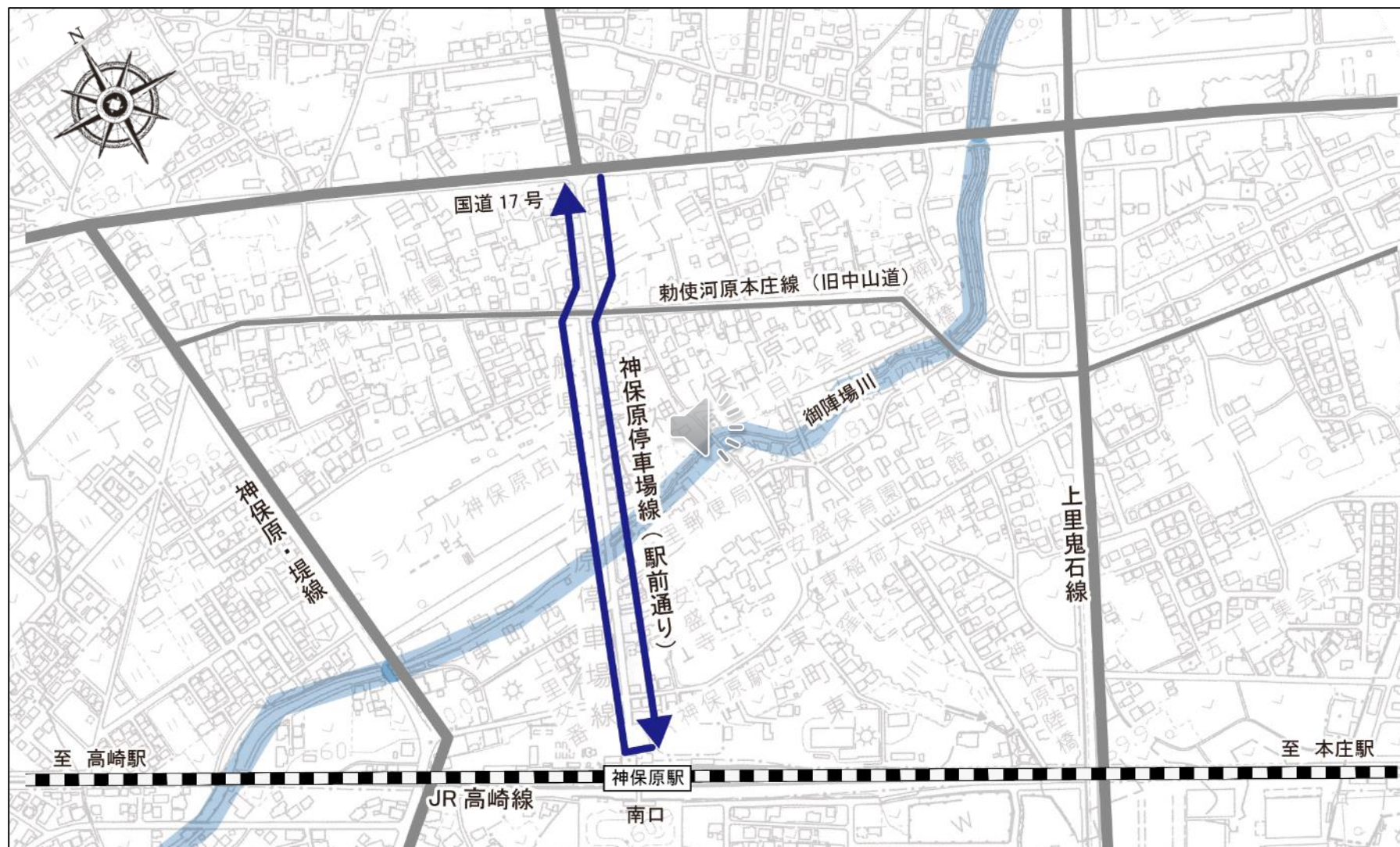
POINT2

今ある「魅力的な場所」
を整える・発信する

POINT3

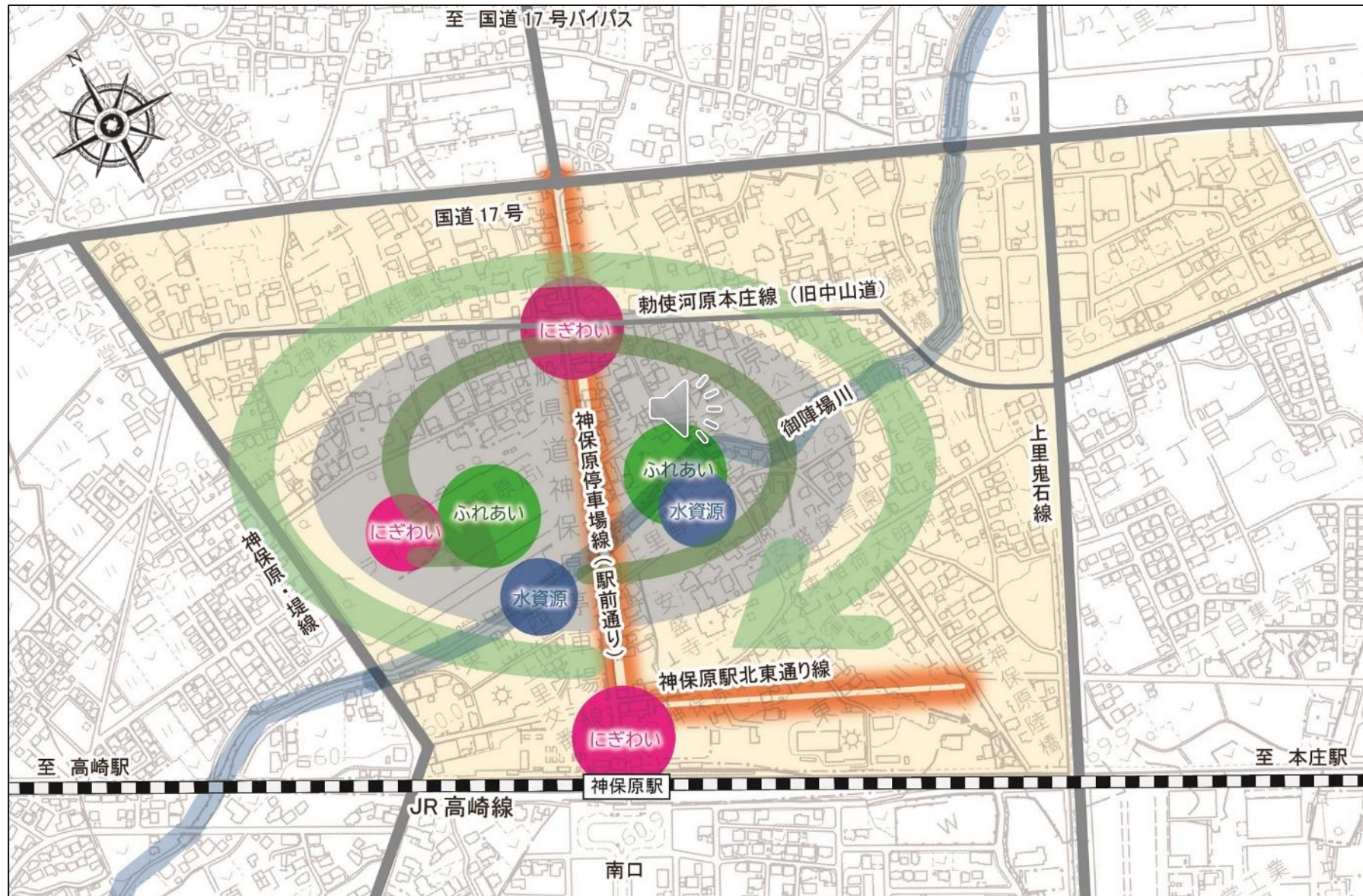
ネットワークでつなげる





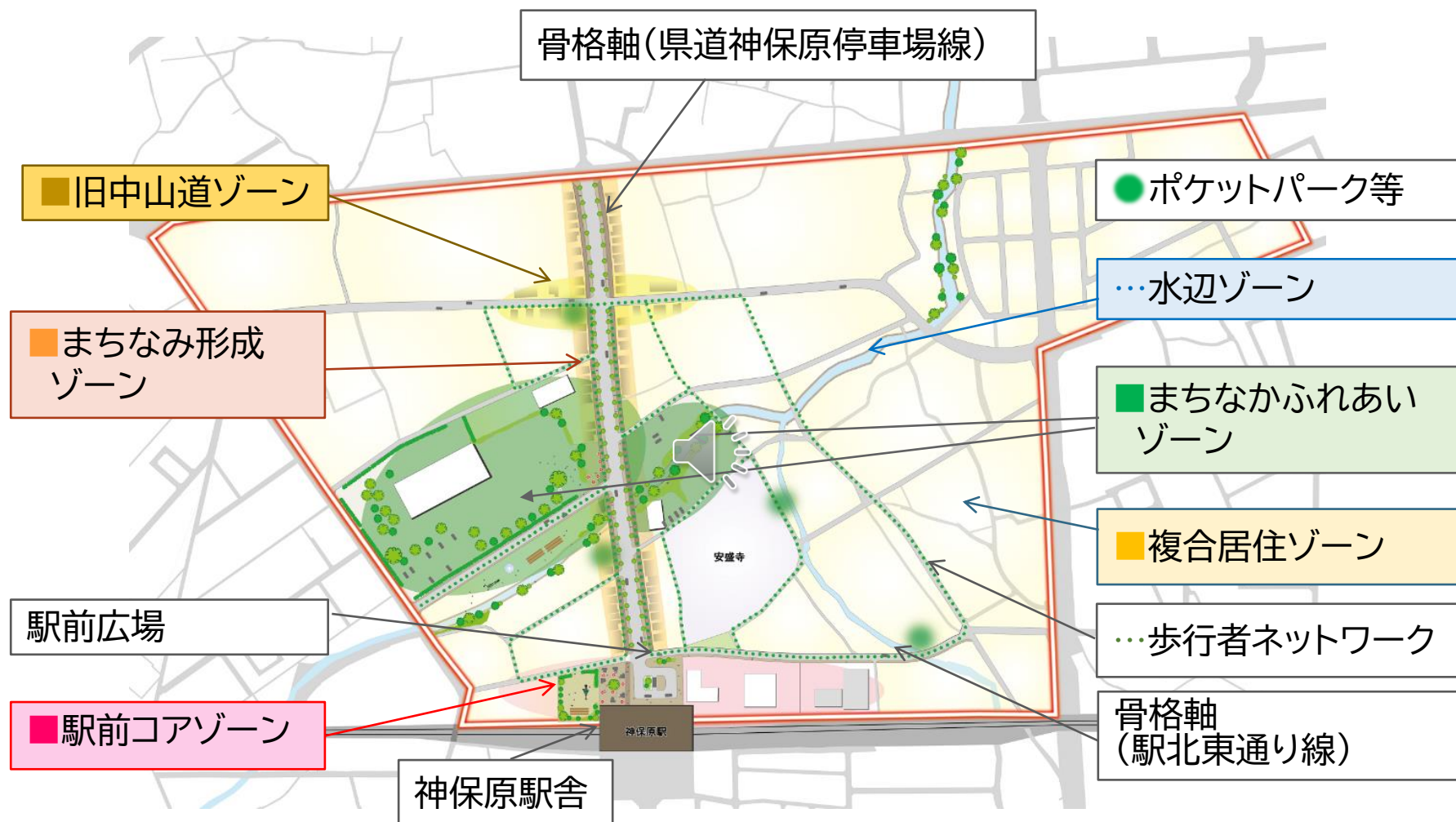
3-2. まちづくりのコンセプト

14



3-3. まちづくり基本計画図

15



※まちづくり基本計画に記載されている各種機能の位置等については、確定事項ではありません。既存のネットワークや、将来の人の流れを加味して配置したものであり、今後関係者と協議・調整を行っていきます。

3-3. まちづくり基本計画図

■ まちなみ形成ゾーン

【空間の使い方】

- ・ 歩き疲れた時に、寄り道できるような使い方。
- ・ 沿道の店舗がマーケット(市場)などを開催できるような使い方。

【必要なしかけ】

- ・ 小休憩できるようなポケットパークやウォークアブル空間の整備。
- ・ 駅前空間の再構築等により、カフェや雑貨店などの小規模な商業施設の誘導。
- ・ スタンプラリーやマップ等の活用。
- ・ 居心地が良く、昔の面影が感じられるまちなみの形成。



事例：静岡市



出典：高崎市HP

3-3. まちづくり基本計画図

■駅前コアゾーン

【空間の使い方】

- 町の玄関口として、インパクトを与えられるよう、イベントができるような使い方。
- 駅直結の利便性を活かした、日常生活に必要な機能が集まるような使い方。
- 駅周辺だけでなく、町内各地の資源をつなぐことができるような使い方。

【必要なしかけ】

- イベントが開催できるような広場空間の整備。
- 駅前空間の再構築等により、小規模な商業機能や、診療所などの医療・福祉機能の誘導。
- レンタサイクルブース等の設置。



3-3. まちづくり基本計画図

■ まちなかふれあいゾーン

【空間の使い方】

- ・ まちの良い所をいかしながら、『目的地』となるような使い方。

【必要なしかけ】

- ・ 教育機関の誘致や地域住民が交流できる施設の誘導。
- ・ 河川沿岸と一体的に公園、広場等を整備。
- ・ ゾーン間を安全に行き交うことができる歩行空間整備の検討。



事例：武蔵野市

■ 旧中山道ゾーン

【空間の使い方】

- ・ 駅周辺だけでなく、町内各地の資源をつなぐことができるような使い方。

【必要なしかけ】

- ・ 地場産品の販売施設等の商業機能の誘導。
- ・ 居心地が良く、昔の面影が感じられるまちなみの形成。



事例：富岡市

3-3. まちづくり基本計画図

■複合居住ゾーン

【空間の使い方】

- ・ 駅北の良い所として挙げられている「静かでのんびりとした、過ごしやすい場所」を伸ばすことができるような使い方。

【必要なしかけ】

- ・ 居住、緑化の推進。
- ・ 空き地を活用したポケットパークの整備。



出典:松山市HP

…水辺ゾーン

【空間の使い方】

- ・ 貴重な水資源をまちの憩いの場として高めるような空間の使い方。

【必要なしかけ】

- ・ 緑化の推進。
- ・ まちなかライブカメラの設置。



出典:三原市HP

3-3. まちづくり基本計画図

20

骨格軸(県道神保原停車場線)

- ・ 居心地が良く、歩きたくなる歩行空間の整備。

例)沿道の店舗がマーケット(市場)などを開催できるような場所。

- ・ 暗がりの解消等。
- ・ 旧中山道交差部のクランク解消等。

骨格軸(駅北東通り線)

- ・ 駅東側からのアクセスを高めるための道路整備。

駅前広場

- ・ 神保原停車場線に直結する歩行者空間を有し、整形かつ十分な広さの駅前広場の整備。
- ・ 一時停車スペースの整備。

● ポケットパーク等

- ・ 歩行者ネットワークとリンクするように設置

神保原駅舎

- ・ 橋上駅舎化等、駅機能の改善。
- ・ 駅舎併設機能や案内板設置。

… 歩行者ネットワーク

- ・ 舗装整備や案内板設置など。

4-1. まちづくり施策

21



楽しみ、活力がみなぎる場所づくり

【ソフト面】

- ◆賑わい創出に向け、まちなかを知ってもらい、「楽しい場所」と思ってもらうために、上里町及び駅周辺の魅力を広めるイベントを検討します。

⇒①地域イベントの検討・実施

- ◆空き家・空き地を利活用するしかけづくりにより、まちなかの活力を創出します。

⇒②小規模店舗等の誘導

- ◆上里町全体に賑わいを広めていくため、情報発信に向けたしかけを検討します。

⇒③情報発信の強化

【ハード面】

- ◆駅周辺を目的地とするため、賑わいづくりに向けた機能を大型商業施設跡地に誘導します。

⇒④賑わいづくりに向けた機能の誘導

- ◆まちなかにおける憩いの空間を整備し、賑わい創出を図ります。

⇒⑤公園・広場の整備

- ◆レンタサイクルブース等を設置し、駅周辺および町内各地の回遊性を高めます。

⇒⑥レンタサイクルブース等の設置

4-1. まちづくり施策

①地域イベントの検討・実施

【実施ゾーン】 駅前コアゾーン、まちなみ形成ゾーン、まちなかふれあいゾーン

【施策の概要】

- ・ 駅北に再び様々な人々が集まってもらうためには、地域や町内に大きなインパクトを与えることが必要です。
- ・ そのため、「駅北の歴史」や「地域の店舗」、「普段の部活動や趣味等の活動を発揮できる場」、「上里町の物産等、良い所をアピールする場」等をテーマにしたイベントを開催し、人々が駅北に関わる機会を増やします。

【実施イメージ】

- ⑤民間主体の組織等によるイベントを実施
- ⑥ワークショップ形式でイベントを企画



事例：瑞穂市



事例：草加市

【事業実施関係者】地域住民、商業事業者、学生、商工会、上里町

4-1. まちづくり施策

②小規模店舗等の誘導

【実施ゾーン】 駅前コアゾーン、まちなみ形成ゾーン、旧中山道ゾーン

【施策の概要】

- 地域の賑わいづくりの核として、商業施設等の誘導が課題となっています。少しでも商店の出店機会を増やすことができるよう、募集要項の作成や、出店者へのヒアリングにより、建物や土地所有者とのマッチングを行います。
- マッチング後、空き店舗、空き家を活用して、商店を経営しようとする商業事業者に対して、空き家の改修に係る費用の補助を検討します。
- 商業事業者にとって出店しやすい仕組みづくりとして、以下の取組みも検討します。

例1 空きスペース活用支援 例2 チャレンジショップの運営

【実施イメージ】

㊤空き店舗を活用した雑貨店

㊦チャレンジショップの運営



【事業実施関係者】 商業事業者、商工会、上里町

4-1. まちづくり施策

③情報発信の強化

【実施ゾーン】 駅前コアゾーン

【施策の概要】

- 町の玄関口である駅前において、まち全体の魅力の案内・紹介や、近年、激甚化する災害やまち全体の安全性を高めるための情報発信力の強化を検討します。

例1 デジタルサイネージ(案内板)の設置

- 上里町の様々な情報を知ることができる、デジタルサイネージ(案内板)を設置します。

例2 情報発信コーナーの設置

- 町内の店舗等を紹介するパンフレットやポスターを設置できるスペースを設け、誰もが気軽に情報発信できる場所を設置します。

【実施イメージ】

㊤デジタルサイネージ(案内板)の設置

㊦情報発信コーナーの設置

【事業実施関係者】 上里町



事例:飯能市



事例:瑞穂市

4-1. まちづくり施策

④賑わいづくりに向けた機能の誘導

【実施ゾーン】 まちなかふれあいゾーン

【施策の概要】

- ・ 駅北の賑わいづくりのためには、来訪者を増やすことが必要となります。そのためには、現在の駅周辺居住者や駅利用者だけでなく、広域的かつ経常的に人を呼び込むことが重要となることから、駅北の低未利用土地等を活用した教育機関の誘導を推進します。
- 
- ・ 駅北に憩える場や交流できる場がないなどの地域課題に対応するため、学校の施設(図書館や交流スペース、食堂等)を誰でも利用できるような、地域に開かれた学校とするため、関係者との協議を行います。
 - ・ その他、地域住民が交流できる施設の誘導を検討します。

【事業実施関係者】 上里町、進出事業者

4-1. まちづくり施策

⑤公園・広場の整備

【実施ゾーン】 駅前コアゾーン、まちなみ形成ゾーン、複合居住ゾーン

【施策の概要】

- ・ 駅北側には地域住民が憩える場所がないため、まちなかにおける公園や広場など、誰もが楽しみ、憩えるような空間を創出します。

例1 駅隣接地における広場



- ・ 上里町の玄関口として、イベントの開催や、キッチンカー等が出店できるように平場や芝生をメインとした空間整備を行います。

例2 まちなかの憩いの場としての広場

- ・ 住民の方や来訪者を対象に、誰もが楽しみ、憩えるような空間整備を行います。

【実施イメージ】

④駅前における広場のイメージ

④まちなかの憩いの場の広場のイメージ

【事業実施関係者】 上里町



4-1. まちづくり施策

⑥レンタサイクルブース等の設置

【実施ゾーン】

- ・ 駅前コアゾーン

【施策の概要】

- ・ 駅北の賑わいづくりのためには、駅周辺の回遊性を高めることが必要となります。また、町内各地にある魅力的な資源をつなぐことが必要となるため、レンタサイクルブース等の設置を検討します。



【実施イメージ】

レンタサイクルブース等の設置

【事業実施関係者】

上里町、進出事業者



事例:所沢市

4-1. まちづくり施策

28



便利で、住み続けたい場所づくり

【ソフト面】

◆立地適正化計画の活用により、生活に必要な機能の誘導を行います。

⇒①日常生活サービス機能の誘導

◆地域住民の方による、緑化・美化活動を支援し、住み続けたいまちを目指します。

⇒②地域の魅力向上に向けた活動の推進



◆空き家の利活用を推進し、良質で低廉な住宅を提供します。

⇒③住宅としての空き家の利活用の推進

◆マップ作成等、歩きたくなるまちづくりの推進に向けたしかけの検討を行います。

⇒④歩きたくなる仕掛けの検討

4-1. まちづくり施策

①日常生活サービス機能の誘導

【実施ゾーン】

- 駅前コアゾーン、まちなみ形成ゾーン、まちなかふれあいゾーン

【施策の概要】

- 「都市構造再編集中支援事業」を活用し、立地適正化計画に基づく都市機能誘導区域内の誘導施設の維持・新規誘導を促進します。

㊤都市構造再編集中支援事業のイメージ

㊦本町における誘導施設

【事業実施関係者】

上里町、民間事業者等



都市機能		誘導施設	本町における対象施設
公共公益	行 政	相談窓口機能がある施設	町役場
		暮らしの安全を守る施設	交番
医療・福祉	医 療	健康増進に向けた相談窓口、健康増進活動を支える施設	保健センター
		日常的な診療を受けることができる施設	診療所
	介護福祉	介護・保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する施設	地域包括支援センター
		高齢者の相談窓口、交流機能等がある施設	老人福祉センター
		町民福祉の向上及び福祉活動の推進を図る施設	福祉町民センター
	地域福祉の推進を図る施設	社会福祉協議会	
子育て支援	子 育 て	子育て世代の相談窓口機能がある施設	子育て世代包括支援センター
		子育て環境の向上を図る施設	保育所（町立）
	教 育	教育の振興や広域的に人を呼び込みまちの賑わいを生み出すことが期待される教育施設	高等学校、大学、専門学校等
生活サービス	商 業	食料品や日用品等を取扱う施設のうち、店舗面積が500㎡以上の商業施設	商業施設（食品スーパー、ドラッグストア等）
	金 融	相談窓口がある金融施設	銀行等

※ 誘導施設の誘導については、今後の社会情勢の変化や都市機能誘導区域内の各種施設等の立地状況。

出典：上里町立地適正化計画

4-1. まちづくり施策

②地域の魅力向上に向けた活動の推進

【実施ゾーン】

- すべてのゾーン

【施策の概要】

- 現在の「駅北の良い所」として、「静かで住みやすい」ことが挙げられます。この長所を十分にいかし、より地域住民に愛着を持ってもらうとともに、「住み続けたい」と思ってもらえるよう、日常的な地域の緑化活動や清掃活動を推進します。



【実施イメージ】

④地域による緑化活動

④地域による清掃活動

【事業実施関係者】

地域住民、上里町



4-1. まちづくり施策

③住宅としての空き家の利活用の推進

【実施ゾーン】

- ・ 複合居住ゾーン

【施策の概要】

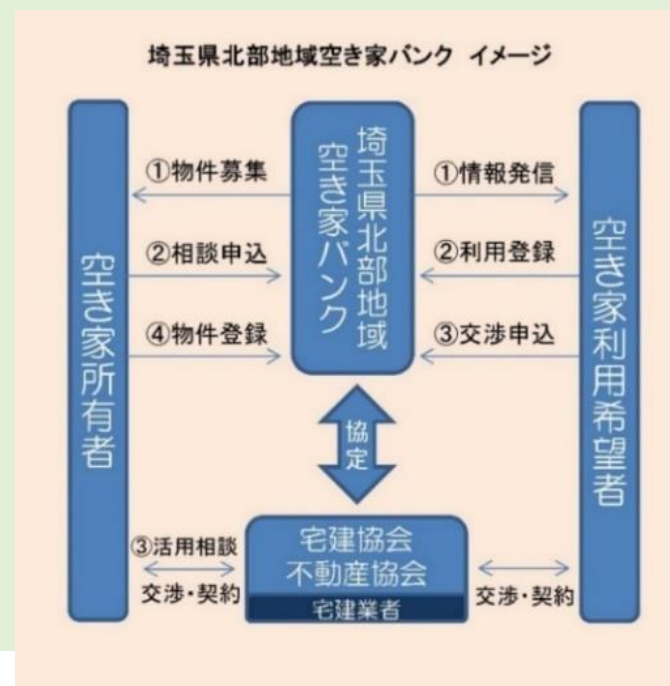
- ・ 既存の住宅ストックを活用することは、人口減少への歯止めをかけることにも寄与します。そこで、空き家を改修して居住を希望する方に対し、建物所有者とのマッチングを行うなど、空き家の利活用を推進します。

【実施イメージ】

埼玉県北部地域空き家バンクのイメージ

【事業実施関係者】

埼玉県北部地域地方創生推進協議会



4-1. まちづくり施策

④歩きたくなるしかけの検討

【実施ゾーン】

- ・ まちなみ形成ゾーン、旧中山道ゾーン、水辺ゾーン、複合居住ゾーン

【施策の概要】

- ・ 「歩いて楽しむまちなか」を実現するためには、回遊性・滞留性を高めるしかけが必要です。そのため、地域の歴史や店舗を知ることができるようなマップの作成や案内板の設置等を検討します。
- ・ 回遊性を高めるためのしかけとして、高質な舗装や滞留できるポケットパークの整備を検討します。

【実施イメージ】

- ㊤ポケットパークの整備
- ㊦地域と連携し作成した駅周辺マップ



事例:朝霞市



事例:瑞穂市

【事業実施関係者】 地域住民、上里町

4-1. まちづくり施策

安全・安心



33

安全・安心な場所づくり

【ソフト面】

◆地域による見守り体制の強化や、まちなかでのライブカメラの設置により、通常時・災害時における安全性の向上を図ります。

⇒① 地域の見守り体制(継続、体制強化)

⇒② まちなかライブカメラの設置

【ハード面】

◆クランク形状の解消や、歩道の整備等により、駅北の各地域や町内各地からのアクセス性・安全性を向上させ、駅周辺居住者や駅利用者の安全性を高めます。

⇒③ 県道神保原停車場線の拡幅

⇒④ 駅北東通り線の整備

◆駅前広場の拡充により、駅北における交通結節点機能を強化し、公共交通利用時や送迎時等の利便性の向上につなげていきます。

⇒⑤ 神保原駅北口 駅前広場の整備

◆橋上駅舎化等により駅機能を改善し、駅南側からの利便性を向上させ、拠点性の向上につなげていきます。

⇒⑥ 駅機能の改善

4-1. まちづくり施策

①地域の見守り体制(継続、体制強化)

【実施ゾーン】

- ・ まちなみ形成ゾーン、旧中山道ゾーン

【施策の概要】

- ・ 駅北の安全性を確保するため、現在、通学の時間帯において地域による見守りが行われています。今後も地域の見守り体制が継続できるように体制強化等を検討します。



【実施イメージ】

地域による見守り

【事業実施関係者】

地域住民、上里町



事例：上里町

4-1. まちづくり施策

②まちなかライブカメラの設置

【実施ゾーン】

- ・ 水辺ゾーン

【施策の概要】

- ・ 地域の方々が安全に憩える空間を創出するためには、防犯等の観点から安全性を高める必要があります。そこで、憩いの場を見守る防犯カメラを設置し、災害時には水位も確認できるような機能の導入を検討します。



【実施イメージ】

- ・ 御陣場川にライブカメラを設置し、ホームページ等で公開します。

【事業実施関係者】

埼玉県、上里町



出典:三原市HP

4-1. まちづくり施策

③県道神保原停車場線の拡幅

【実施ゾーン】 まちなみ形成ゾーン

【施策の概要】

- ・ 町内各地と駅北をつなぐ主要な動線である県道神保原停車場線について、安全性の確保に向け、現況の交通量に見合った車道の整備や、歩道の新規整備、滞留空間を整備します。
- ・ 旧中山道との交差部はクランク形状を解消します。
- ・ 空間整備に当たっては、ユニバーサルデザインに留意した設備とします。
- ・ 既存の幅員約6mの車道に、自転車通行帯や車いす・歩行者が相互に安全・安心に通行できるように十分な歩道空間の整備を検討します。
- ・ 賑わい創出の一助として、沿道の商業者がストリートファニチャー(街路上のベンチ等)を設置できるように、憩いの空間の整備を検討します。

【整備イメージ】

- ㊤居心地の良いウォーカブルな動線
- ㊦沿道店舗と一体となった賑わいの創出



事例: 静岡市



出典: 高崎市HP

【事業実施関係者】 埼玉県、上里町、沿道地権者

4-1. まちづくり施策

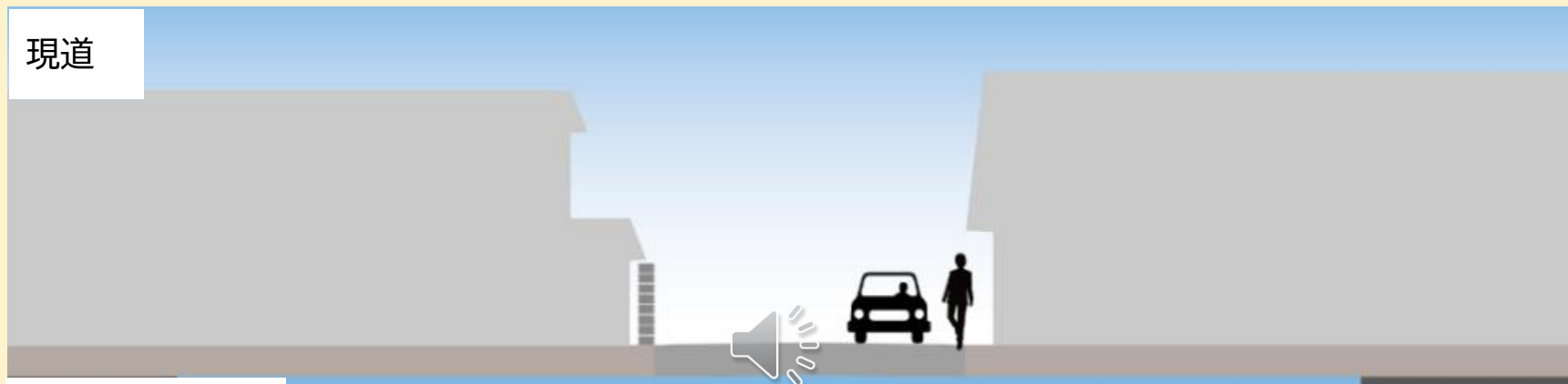
37

③県道神保原停車場線の拡幅

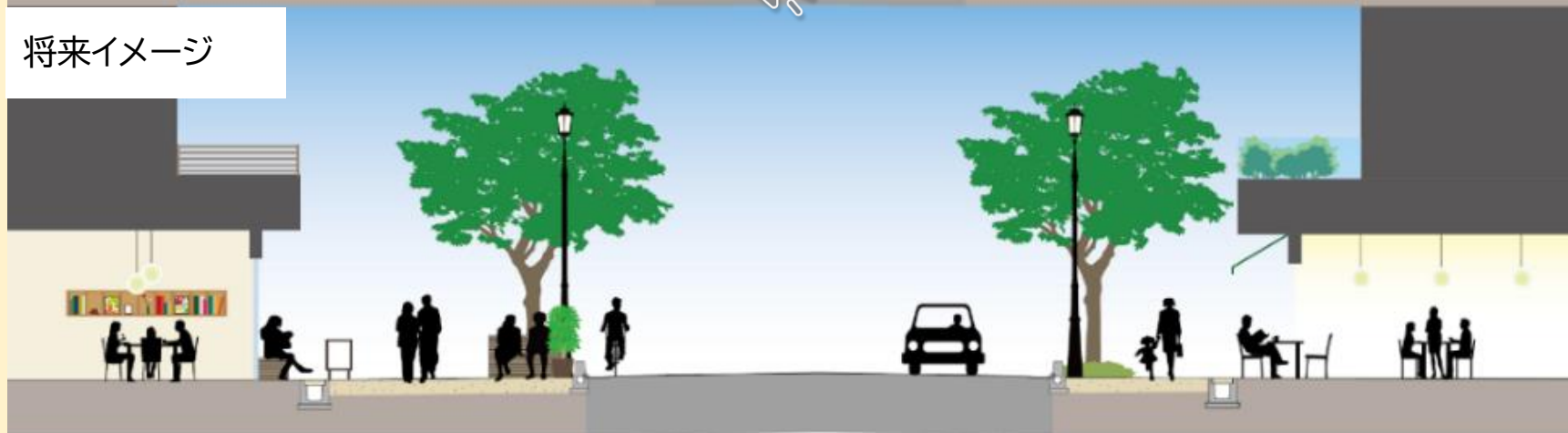
【実施イメージ】

- ・ 現道からの拡幅イメージ

現道



将来イメージ



4-1. まちづくり施策

④ 駅北東通り線の整備

【実施ゾーン】 駅前コアゾーン

【施策の概要】

- ・ 駅周辺と駅北東側地域を結び、地域の安全な通行空間を確保するため、駅北東通り線の整備を行います。
- ・ 空間整備に当たっては、ユニバーサルデザインに留意した設備とします。
- ・ 周辺の交通量を勘案し、歩道のある生活道路を設置します。

【実施イメージ】

地域の生活軸としての道路

【事業実施関係者】

上里町、沿道地権者



事例:さいたま市

4-1. まちづくり施策

⑤神保原駅北口 駅前広場の整備

【実施ゾーン】 駅前コアゾーン

【施策の概要】

- ・ 町の玄関口としての交通結節点機能を強化するため、現況の交通量をベースとしつつ、駅北の賑わい創出による将来的な交通量の増加や、公共交通の利用状況を見据え、神原駅北口駅前広場の整備を行います。
- ・ 空間整備に当たっては、ユニバーサルデザインに留意した設備とします。
- ・ コミュニティバスの停車スペース、送迎者のための駐停車や乗降スペース、タクシープール、タクシー乗降スペース等を確保できる空間を設計します。
- ・ 歩きたくなる空間づくりの一助として、「県道神保原停車場線」に直結する歩行者空間や、広場等の公共空間と一体的な空間となるような整備を検討します。

【整備イメージ】

公共空間と一体となった駅前広場

【事業実施関係者】

上里町、沿道地権者



出典:北本市HP

4-1. まちづくり施策

⑥ 駅機能の改善

【実施ゾーン】 駅前コアゾーン

【施策の概要】

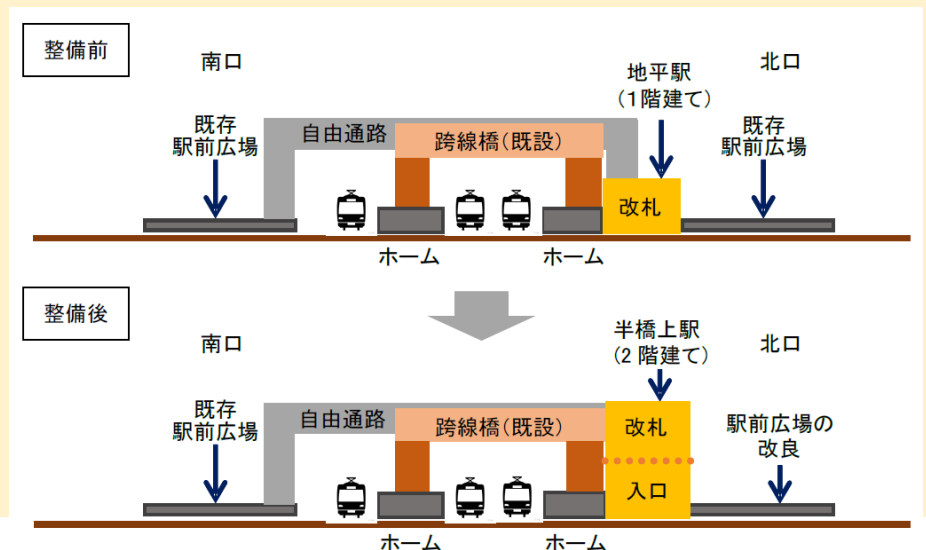
- 改札口が駅北側にしかなく、南側と北側の往来のしやすさや、南側からの駅利用が不便な状態であるため、橋上駅舎化等を想定した駅機能の改善を検討します。
- 空間整備に当たっては、ユニバーサルデザインに留意したものとします。
- 駅舎併設機能として、コワーキングスペース(共同で仕事をする場所)や、コンビニエンスストア等の商業機能の導入についても検討します。

【実施イメージ】

駅舎のイメージ(一例)

【事業実施関係者】

上里町、JR東日本



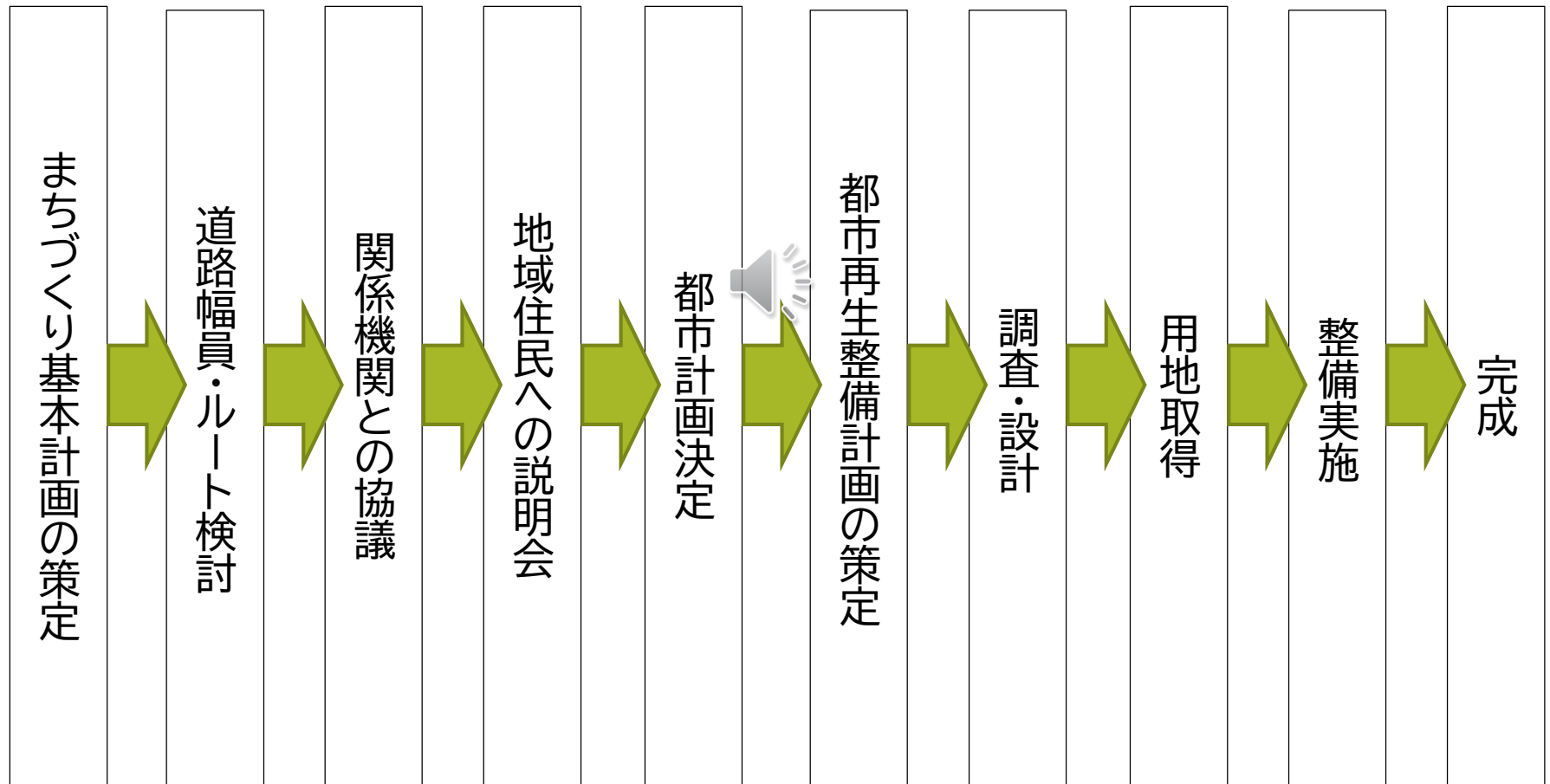
4-2. 全体スケジュール

【イメージ】

	短期(計画策定後 5 年間) できることから始める 駅北を知る ～まちなかの交流～	中期(5 年目から 10 年目) ハード改善の見える化 目に見える改善 ～まちなかの変化～	長期(10 年目から 20 年目) 将来像に近づける 空間の活用 ～まちなかの活性化～
	ソフト施策の実施 関係者の機運醸成	活用できる場所から 施設の誘導・整備を進める	空間を活用し、店舗誘導、 施設の整備
	ソフト施策の実施		空間の利活用を開始
	各種施設の詳細計画の検討 関係機関との協議 ソフト施策の実施	工事の実施	工事の実施 空間を活用し、緑地空間 等を整備

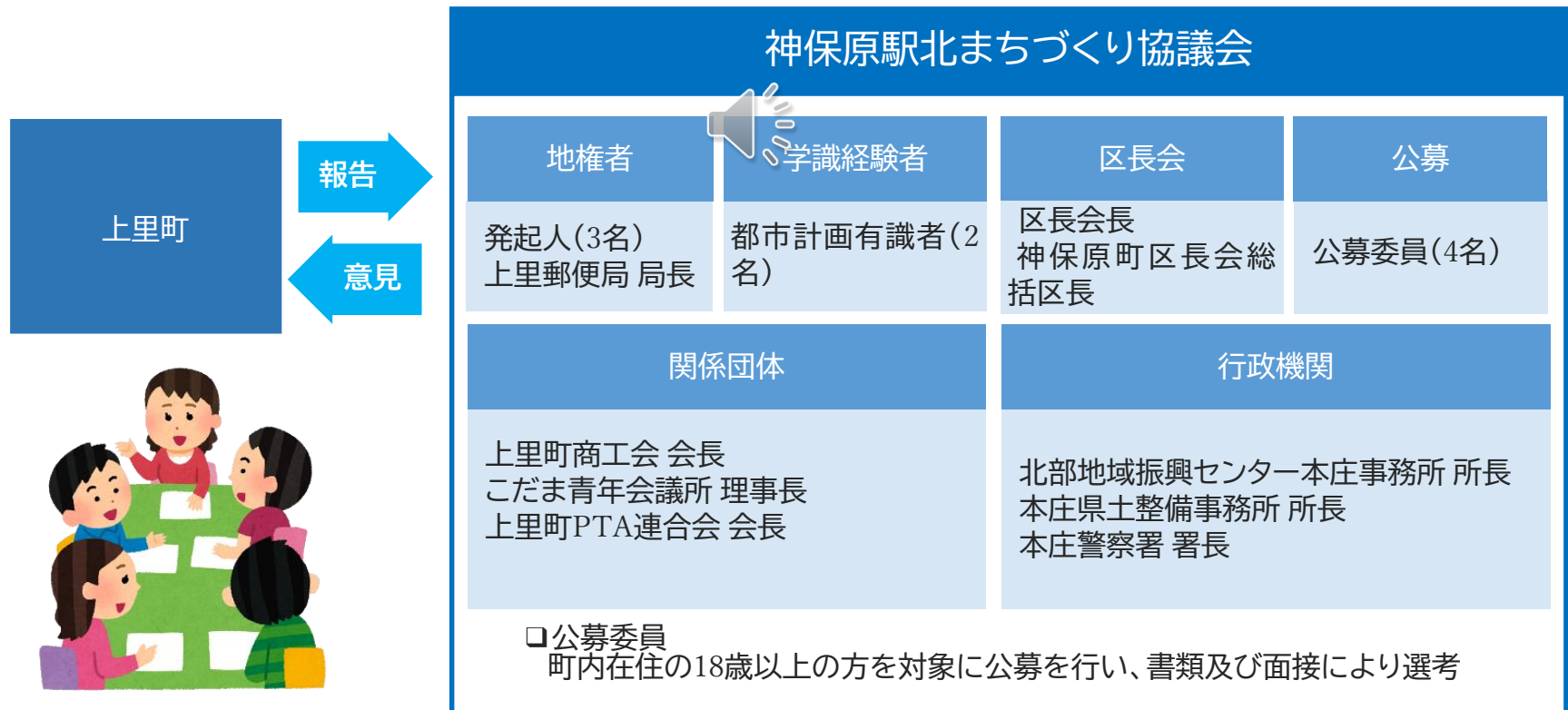
4-2. 全体スケジュール

- 今後、駅北の骨格軸である道路整備に向けた各種手続きを進めていきます。



5. 計画の管理

- 本計画で示した施策(主にハード整備)の進行管理は、今後作成する「都市再生整備計画」に基づき行い、まちづくり協議会や庁内検討委員会において施策・事業の実施報告を行います。
- 実施報告の結果を踏まえ、本計画の見直しや実現に向けた協力体制の見直しなどを検討していきます。
- (参考) まちづくり基本構想・まちづくり基本計画の検討体制



まちづくりの実現に向けた 動きと取組み

令和5年2月

まちづくりの実現に向けた動きと取組み

※本資料は今後の協議・検討により変更になる場合があります。

施策メニュー (青文字:ソフト、赤文字:ハード)	基本方針・ 施策番号	実施ゾーン (略称)	短期(計画策定後 5 年間) できることから始める 駅北を知る～まちなかの交流～	中期(5 年目から 10 年目) ハード改善の見える化 目に見える改善～まちなかの活性化～	長期(10 年目から 20 年目) 将来像に近づける 空間の活用～まちなかの活性化～
地域イベントの検討・実施	「楽しみ活力 がみなぎる」 場所づくり	① 駅前コア まちなみ形成 まちなかふれあい		実行・継続	
小規模店舗の誘導		② 駅前コア まちなみ形成 旧中山道	空き家・空き店舗活用調査の検討、 商業事業者、商工会との調整	実行・継続	
情報発信の強化		③ 駅前コア	上里町関係課との調整 設置		
賑わいづくりに向けた機能の誘導	「活力」 	④ まちなかふれあい	進出事業者との調整・ 都市再生整備計画策定・用地取得	整備・施設利活用	
公園・広場の整備		⑤ 駅前コア まちなみ形成 複合居住	位置、規模、機能の検討	整備・施設利活用	
レンタサイクルブースの設置		⑥ 駅前コア	進出事業者との調整 設置		
日常生活サービス機能の誘導	「便利で住み 続けたい」 場所づくり	① 駅前コア まちなみ形成 まちなかふれあい		誘導	
地域の魅力向上に向けた活動の推進		② すべてのゾーン	地域住民との調整	実行・継続	
住宅としての空き家の利活用の推進		③ 複合居住		実行・継続	
歩きたくなる仕掛けの検討	「定住」 	④ まちなみ形成 旧中山道 水辺 複合居住	地域住民との調整	実行・継続	
地域の見守り体制(継続～体制強化)		① まちなみ形成 旧中山道	地域住民との調整	実行・継続	
まちなかライブカメラの設置		② 水辺	関係機関との調整 設置		
県道神保原停車場線(骨格軸)の拡幅 駅北東通り線(骨格軸)の整備	「安全・安心」 な場所づくり	③ まちなみ形成	都市計画決定・都市再生整備計画策定	用地取得・整備・施設利活用	
神保原駅北口 駅前広場の整備		④ 駅前コア	都市計画決定・都市再生整備計画策定	用地取得・整備・施設利活用	
駅機能の改善		⑤ 駅前コア	JR 東日本との調整・計画検討	整備・施設利活用	

将来像

「賑わいとゆとりを感じ 歩いて楽しむ」まちなか「ひと・まち・駅をつなぐまちづくり」

「これから進めたいこと」

「今すぐ進めたいこと」



「楽しみ活力がみなぎる」場所づくり

まちを楽しむ	賑わいの創出
・駅北イベントの実施	・商工会との連携強化
・歴史講座の開催	・大型商業施設跡地取得 に向けた協議・調査
・こむぎっちウォーキングコ ースの設定	・「ウォーカブル推進都市」の 登録
・「駅からハイキング」の実施	・「上里町起業支援事業補 助金」制度の実施



「便利で住み続けたい」
場所づくり

定住促進
・立地適正化計画の策定・公表 (各種施設の誘導と維持に向け た体制の整備)
・「上里町空き家利活用推進 事業補助金」制度の実施



「安全・安心」な場所づくり

まちづくりの骨格形成	交通安全・防犯対策
・県道神保原停車場線 駅舎の検討に向けた 設計検討	・警察との連携強化
・県道神保原停車場 線の交通量調査	・地域の見守りによる、 県道神保原停車場線 の安全確保
・駅北東通り線の 設計検討	

共通

まちづくりの検討
・まちづくり協議会の開催
・埼玉版スーパー・シティ プロジェクトに向けた検討
・町民ワークショップの開催
・まちづくりに関するアン ケート調査

ご清聴ありがとうございました